

漫画好き、活字嫌いの中学生の娘が珍しく新聞記事を手にも、目を輝かせて駆け寄ってきた。「お力ネって、日本銀行でなくても簡単に作れるの?」

記事によると、東京・高田馬場で生まれた「アトム通貨」が全国の商店街に広がりそうだという。人のため、地域のため、環境のためによいことをすれば、子供でも「鉄腕アトム」にちなんだアトム通貨をもらえ、加盟店で使える。

「すばらしいアイデアだね」と言うと、小生意気にも「じゃ、たくさん好きだけ発行してもいいよね」と突っ込んでくる。「そうだね。でもアトムは正義の味方。善意と愛情にあふれた商店街の人々は野放図なことほしくないよ」と答えると、娘は「ふーん」。実のところ、子供の疑問に真実が隠されている。

現代のお力ネとは、日銀券や預金に限らない。現金、商品や資産と交換することを保証する借用証

経済が告げる

田村秀男

のことだ。一応世間的に信用力の
ある機関が発行できる。日銀券は
日銀の「債務」に計上される日銀
発行の借用証である。国債は政府
の、株式や社債は企業の借用証と
いう具合だ。いずれも発行上限は
なぎに等しい。その結果、アトム
の志とは無縁な人々が借用証を乱
発し、バブルを引き起こす。

まずは霞が関バブル。政府は追
加経済対策の名のもとに赤字国債
を大量発行し、天下り官僚を受け
入れる施設「ハコモノ」建設に大
盤振る舞いしようとする。

民間企業、金融機関も1980
年代後半には約70兆円分も株式を
時価発行し、株と不動産の平成バ
ブルを引き起こした。バブル崩壊

「鉄腕アトム通貨」に倣う

後も、「ホリエモン」のような事
件が後を絶たない。

極め付きは米国が引き起こした
金融商品バブルである。金融商品
とは金融機関が発行する借用証
で、将来の元利払いを保証してい
る。国際通貨基金(IMF)など
の調べによれば、米住宅ローンや
その証券化商品など問題金融商品
の総額は3200兆円を超え、米
欧の国内総生産(GDP)を優に
超す。さらにその金融商品の保険
商品(保険料を前借りにしている
点で、やはり一種の借用証)は6
200兆円にも上る。天文学的な
規模の借用証に値打ちがつかなく
なったのだから、「100年に1
度の大津波」と呼ばれるほどのバ
ブル崩壊になったわけである。

米国は心得たものである。巨大
な規模のマナーが消失したのたか
ら、今度はドル札の発券機関であ
る連邦準備制度理事会(FRB)
がドルをじゃんじゃん発行しては
金融機関に流している。FRBは

米国債も大量に引き取り、ドル札
を政府に提供する。そして値がつか
なくなつた金融商品の価値を強
制的に決め、破綻しかけた金融機
関を救済する。

中国はもともと共産党の号令の
もとで人民元札を発行し、国有商
業銀行に流し込んできた。金融危
機前はこれの人民元で米国債を買
い、危機後はこれら銀行が融資を
拡大している。北京政府は財政は
らまぎに奔走している。

米国、中国とも景気下支えの期
待が強まり、株価が回復基調にあ
る。その恩恵を受けて、日本でも
楽観論が広がり始めた。

だが、ことは容易であるはずが
ない。世のためにはなく、野放
図にお力ネ借用証を作り出して
もうけて何が悪い、というヒトの
傲慢さがバブルを生む。そんな反
省は日本はおろか世界のどこにも
ない。大災厄を繰り返さないため
には、アトム通貨の精神から学ば
なければならぬ。(編集委員)